



院長のご近所探訪

～多聞寺編～

鐘ヶ淵駅よりほど近い多聞寺さんは墨田区内最古の現存建造物である茅葺きの山門(写真)が厳かに迎えてくれます。ご本尊は隅田川七福神のひとつ毘沙門天その他にも、妖怪狸を供養した「狸塚」や「六地藏」など、多くの文化財があります。

年頭所感

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。まず昨年末に東京都医師会が平成28年度からの5年間、ひきつづき当院の指定管理者として東京都の審査にめでたく合格したことをここにご報告いたします。

今後5年間は当院が安定した経営基盤のもとで健全な運営を維持することができるものと安堵しております。さらに今年の3月にはやはり平成28年より5年間の日本医療機能評価機構による病院機能評価の再認定審査が控えております。審査に合格するためには各部署の皆様方の一致団結したご協力が是非とも必要となりますので、この紙面をお借りしてお願い申し上げる次第であります。

昨年の病院運営会議で2025年の医療供給体制の再編に向け、当院は療養型病床ではなく回復期病床をもったリハビリテーション病院として存続していかなければならないとの結論に達しました。さらにあり方検討会での議論の結果、当院のめざすべき方向性が決定しました。すなわち「総合的なリハビリテーション医療を実施するとともに、東京都の地域リハビリテーションや地域包括ケアシステムにおいても先駆的・中核的な取り組みを行うリハビリテーション専門病院となる。」という目標であり、その実現のためにはいくつかの重点的取り組みの推進が必要となります。主な取り組みとしては1. 総合的

な幅広いリハビリテーション医療の実施2. 急性期対応が可能な体制を整備し回復期リハビリテーション病棟入院料1の取得や地域包括ケア病棟設置に向けての検討が挙げられます。これらを実現するためにはもちろん東京都および東京都医師会に対して予算・所要人員増の要求を行い、当院の要望を認めていただくことが必要不可欠です。なお365日リハビリテーション体制につきましては今年の4月より是非とも実施していきたいと考えております。つきましては関係職種の職員の皆様方には日々大変にお忙しいこととは存じますが、患者さんのために切れ目のない継続的なリハビリテーションが実施できますよう何卒、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。また職員数の増加に伴う労働環境などのハード面につきましては皆様方に不備、不便のないよう院内スペースの有効活用を実現するべく現在、計画中でありますのでご安心下さい。

それでは今年一年、皆様方には事故のない職場におきまして健康で仲良く勤務ができますよう院長として心よりお祈り申し上げます。

院長 新井康久

運営理念

身体に障害を持たれた方々が生きる喜びと希望を抱き、充実した人生をおくられるよう、医の原点に立った心温まる医療の推進をはかる。



地域リハ、あれこれ

医療福祉連携室 地域リハビリテーション科 科長

堀田 富士子



医療介護連携

実はこの言葉が嫌いです。先日、総合病院に勤務する知人にそのことを告げたところ、「わたしもだ」といっていただきました。わたくしだけではないことにホッとしたりしています。目の前の患者さん、利用者さんを何とかしようとすれば、自分が出来ることは少ないと常々感じています。医療の限界です。ケアは欠かせません。お金のことも心配です。何か社会資源があるのかないのか、確認するにはソーシャルワーク的なアプローチが必要です。介護側が理解するより、医療側が歩み寄りの方が簡単に思えるのですが、本当にみな繋がろうとしているのか、ギモンです。

地域包括ケア

この言葉も嫌いです。理念先行で、何か政策に踊らされているように感じています。多様な問題・障害を抱えるわれわれの生活が医療を含めて地域化するのも、包括化されるのも必然だと思っております。時々、会議などでの意味不明なやり取りにうんざりします。

介護予防

4月に講演をして下さった国際医療福祉大学大学院教授の堀田聡子さんがおっしゃっていました。「“介護予防”って不思議な言葉。気持ち悪い感じ。」そうです。“予防する”、ということは感染予防とか、何か嫌なことが起きないようにするって意味ですよ。介護している方、受けている方はたくさんいるのに。それにみんな集めてまた体操でしょうか。気分が引いてしまいます。高齢者の多様な病態と機能低下を医療の立場でどうマネジメントするか、検討中です。

いずれも、他の医療職、行政や介護の方たちとともに取り組んでいる喫緊の課題です。一病院の地域リハビリ科の者として何をすべきか、何ができるのか挑戦中です。リハビリテーションを知る強みは、障害があってもそれを越えているノウハウを知っていることです。医療介護に精通することはもちろん、これからはよりオールラウンドな人材が地域では求められていくと思っています。先ごろ、本年度入職された療法士さんとともに、“オールラウンドクラブ”と勝手に名付けて勉強会を始めました。興味のある方はご一報ください。



若手ST(言語聴覚士)による 本音トーク!



—どんな発言が飛び出するか、先輩STも興味津々—

M: 入職4年目
まだまだフレッシュ

K: 入職1年目
悩み多き九州男児

M: 当院で働きはじめて半年過ぎたけど、どうですか？

K: そうですね。担当の患者さんが増えて、評価や訓練立案に追われ、日々悩みながら試行錯誤しています。大変ですが、昨日よりも少しうまくできたかな、と思う時はうれしいです。

M: 患者さんの日々の変化はうれしいものね。そのことを患者さん自身が伝えてくれたりすると、明日も頑張ろうって思いますね。悩んでいることなどは？

K: ご本人やご家族に言語障害の状態をきちんと説明しなくてはならない時に、堂々とできなくて、しどろもどろになってしまうことがあります。

M: 必死に頑張っている患者さんやご家族を励ましたいけれど、良いことだけでなく、伝えるべきことは伝えなければならない。本当に難しいと思う。

K: 定期的に行っている失語症家族懇親会は、ご家族に失語症の症状や対応方法についてご説明できるいい機

会ですね。ご家族がどういうことで困っているかを聞けるので、自分も勉強になります。

M: 確かに、この会は当院の言語療法担当の特色のひとつね。他にも、ここの特色や特徴と言えるものはあるかな？

K: 学校の同期生と情報交換するのですが、当院のように経験豊富なSTが多くいる職場はあまりないみたいです。先輩に訓練を代行してもらう時は緊張するけれど、後で助言をもらうと、ひとりではどうしようと悩んでいたことが、すっと解決することがあります。

M: 同感。あと、これまで先輩方が作りためてきた教材の多さも、ここの大きな特徴よね。失語症状は患者さんによって違うから、教材は個々に合ったものが必要だし。これからも一緒に増やしていこう。

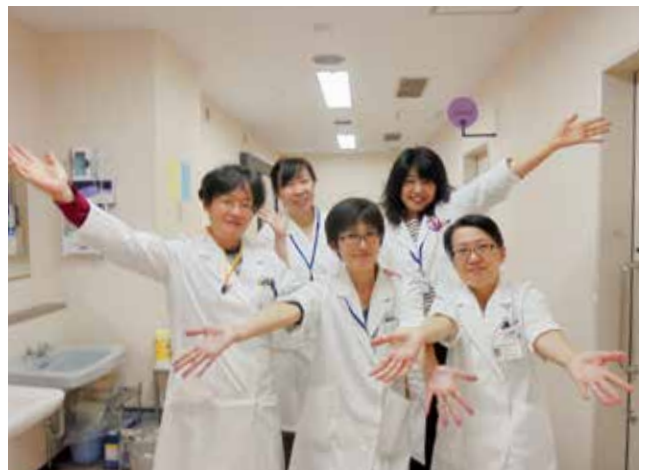
K: これまでは、担当の患者さんのことで精一杯でしたが、自分でも教材を作ったりして、皆さんの役に立ちたいです。今は助けてもらってばかりなので。

M: 私も助けてもらってばかりだけど、知識や経験を積んで、自分の興味のある分野を追求して、皆を引っ張れるくらいになりたいな。今以上にいい職場になるようにしていこうね。

K: 頑張ります！



自称 若手ST



自称 先輩ST



医療福祉連携室だより



第2回高次脳機能障害専門職向け研修会の開催

前号のほっとりハで紹介した、高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実事業」（東京都リハビリテーション病院）が主催する、第2回高次脳機能障害専門職向け研修会を平成27年10月30日（金）ティアラこうとうにて開催しました。

墨田区・江東区・江戸川区の療法士、看護師、ケアマネジャー、介護職等のリハビリテーション従事者を対象とし、当日は68名にご参加いただきました。

今回は、当院のリハビリテーション科医師、作業療法士、言語聴覚士が講師を務め、高次脳機能障害の症状や評価法についての基礎知識を症例や動画をとおして講演いたしました。



阿部Dr.

参加者から「基礎的な部分から学ぶことができてよかった。」「症例があることで具体的なイメージを持つことができた。」といったご意見をいただき、有意義な研修会を開催することができたと思います。

今回の高次脳機能障害専門職向け研修会では「高次脳機能障害の生活支援や心理」をテーマに平成28年3月頃の開催を予定しております。



藤永ST

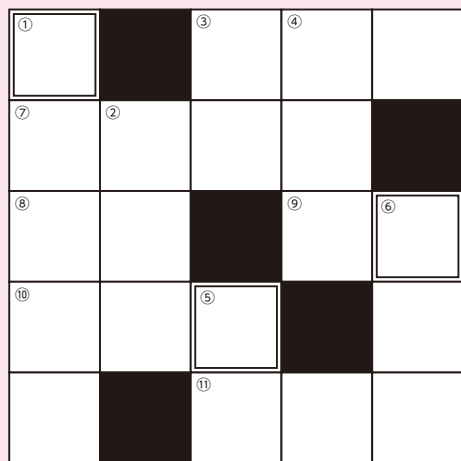


坂本OT

今年も高次脳機能障害者支援に携わる関係機関等を対象とした研修会を実施し、地域における適切な支援の普及・啓発を図って参りますので、よろしく願い申し上げます。

当院並びに区東部地域リハビリテーション支援センター 研修会 開催予定

- ① 第2回 介護技術研修会
日時 平成28年2月7日（日）13：00～ 会場 東京都リハビリテーション病院
- ② 第3回 高次脳機能障害専門職向け研修会
日時 平成28年3月頃（予定） 会場 未定



ほっとりハ クロスワードパズル

ヒントをもとにマス目を埋め、二重マスの文字をつなげてください

タテのかぎ

- ①新年○○○○○おめでとうございます
- ②○○○Ⅱは日本有数の豪華客船です
- ③英語で月はムーン、では太陽は？
- ④人と人との結びつき。親子の○○○
- ⑤難しく言うと、軟体動物門頭足綱十腕形目
- ⑥動力飛行機の発明者は○○○兄弟

ヨコのかぎ

- ③ゴールドラッシュではこれを取りに殺到した
- ⑦オーストラリアの人気観光地です
- ⑧シューベルト「ピアノ5重奏曲」
- ⑨この県の観光スポットNo.1は法隆寺です
- ⑩アラビア半島北西部の塩湖
- ⑪哲学者○○○の主著は「純粹理性批判」

答え： ① ⑥ ⑤

ヒント：当院の院長は○○○康久

認定看護管理者の 資格取得



認定看護管理者とは、日本看護協会の認定看護管理者認定審査に合格した者をいいます。認定看護管理者の役割は、「多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することにより、保健医療福祉に貢献する」ことです。2015年度の新規認定者は364名で、認定看護管理者の総数は2,664名になりました。認定看護管理者の資格を取得するためには、認定看護管理者教育課程サードレベルを終了している者、師長以上の職位で看護管理経験が3年以上ある者で、看護系大学院において看護管理を専攻し修士号を取得している者など4つの要件が必要です。

日々、看護管理が進歩、発展し看護マネジメントが変化していく中で、自己の進歩・発展を目指した自己変革をしなくては、社会変化に対応できないのではないかと思いました。そのため2011年4月から千葉大学大学院看

護学科ケア施設看護システム管理学で3年間学び、2015年6月に認定看護管理者を取得しました。

2025年に向けた社会保障制度改革が推し進められるなか、今後自分が果たしていく役割は、社会の動きに敏感になり、地域のニーズと役割を理解することです。そして、看護師一人一人が社会の変化に対応でき、自施設の果たすべき役割を担っていくことができるように教育支援をしていきます。また、根拠に基づくりハビリテーション看護実践が出来るように看護師を育成することです。そのため看護実践の根拠となる様々なデータを蓄積しアウトカムを出す必要があります。患者の医療的管理や多職種と協働し行う日常生活活動の向上などについてデータを可視化していきます。そして、エビデンスに基づきリハビリテーション看護を実践できるようにマネジメントを行い、看護の質が向上するように取り組んでいきます。

看護部 看護科 手術室師長・教育師長
大館 千歳





都リハとわたしが 歩んだ25年



事務室 四戸 由紀江

25年を振り返って印象に残っていることベスト3
1位 行幸啓H4.3.26(皇后さまにお茶をお出ししたこと)
2位 開院式H2.5.22(苦労が報われた日でした)
3位 摂食嚥下リハカンファレンスを当院で開催H6
(記念すべき日)
(※1997～日本摂食嚥下リハ学会となる)

看護科 田山 理恵

南千住に住んでいた当時、汐入はうっそうと木が茂り森のようだった。その中にひなびた屋外プールがあり、夏の暑い日は、こどもと通った。水神大橋が完成し、隅田川を渡ると建設工事中。こんな近くに新病院オープンなんてラッキー！と、就職を決めた。その後、病棟食堂の窓から汐入地区の高層マンション街への変遷を眺めてきた。いろんな思いとともに。

看護科 渡邊 則子

私は平成2年に新卒でオープニングスタッフとして入職し、都リハと共に25年歩んでまいりました。

開院当時を振り返ると、ナースの5割を新人ナースで占めていたため、6月のオープンに向けての開院準備は楽しい思い出ばかりです。(その分、先輩ナースはおそらく大変な苦労だったと思います。)時々、新人ナースが私服で楽しそうに4S病棟の拭き掃除をしている姿が写った写真が出てくることがあり、その度に懐かしく思い出されます。6月1日から5階と4Sがオープンとなり1人ずつ患者さんが入院され、当時の患者さんの顔と名前はいまだに忘れていないことは驚きです！これまで25年間、都リハで元気で働けたことは、支えて下さった師長・スタッフのおかげだと感謝しています。これからも、都リハで頑張れたら幸せです！

作業療法科 坂本 一世

当時新宿にあった、旧フジテレビの横に建つ大学病院に2年間勤めた後、都リハに入職した私は、20代前半でした。OTは5名でのスタート。当時の科長は日本初の作業療法士養成校の第一期生世代、その下の主査も経験十数年のベテランで、後の2人は新人さん、全員女性。私もすっかり新人の気分で、20代の女子3人でキャピキャピ(死語ですね)していたところ、主査の先生に、「あなたまで新人気分でいられたら困る」とお叱りを受けたことを、懐かしく思い出しました。

事務室 桑原 広実

私は学生の頃、当時働きながら通っていた仲間を紹介されたのが、「リハビリ専門病院開設準備室」でした。それ以来、リハ病院で微力ながら頑張らせて頂いております。思い出は、福利厚生で行ったスキーや温泉やものまねショーですかねえ。また何かの形で復活しないかな…と今も思っています。

言語療法科 奥平 奈保子

もう四半世紀も前のことなんですね…。開院初年度は病棟も2つだけで、STは2名。リハ・スタッフも総勢20名と家族的で、皆若く、病院から墨堤通りを渡って斜め左に入った路地に居酒屋があり、仕事帰りによく皆で出かけたものでした。リハ科の才藤栄一先生が嚥下リハのシステムを作られましたが、嚥下造影ができる施設も、当時はまだ珍しかったと思います。

看護科 緑川 美子

開院時は子育ての真っ最中、6年間のブランクを経てからの勤務は私にとって、社会復帰のリハビリそのものでした。半田科長、石鍋師長、多くのスタッフに暖かく見守られて過ごした日々は懐かしい思い出です。あれから25年、今はあの頃の自分と同じ子育て中の若いスタッフと一緒に働いています。

心理指導 南雲 祐美

思い出深い訓練の1つとして地下鉄サリン事件の患者さんへの認知訓練があります。症状、予後も未曾有のことでしたが、前医、他部門と協働のリハビリを期限目前まで行いました。復職を目的とした日常生活への復帰は容易ではなかったこと、心理として基本的な事柄であるレポート^{*}を築くことの大切さを痛感したことを覚えています。

^{*}心理学で人と人との間がなごやかな心の通い合った状態であること。

ご近所ネットワーク

当院の入院患者さんの約25%、外来患者さんの約30%は地元墨田区にお住まいです。

急性期～リハビリ～在宅医療の流れの中で薬物療法を適切に行っていくには、

地元保険薬局と病院薬局との薬薬連携も重要になります。

今回は、墨田区薬剤師会の活動を紹介します。

墨田区薬剤師会の活動

薬剤師会は、ほぼ都内区市町村ごとにあり、墨田区では現在約110の薬局が入会している組織です。保険薬局の組織率は約75%です。主な活動は研修会の開催や上部団体である東京都薬剤師会と日本薬剤師会からの情報伝達と行政や地元医師会等との連携活動、事業の受託等があります。

墨田区の保健計画課から受託している事業に「墨田区救急医療情報キット」の配布がありますのでご紹介したいと思います。これは、いざ救急隊が駆け付けた時に、緊急連絡先や服薬歴など必要な情報を瞬時に得られるように、冷蔵庫にキット化して常備しておくという事業です。今年度で4年目になりました。この9月には普及強化月間として、会員に積極的な配布とキットの中に入れるお薬情報の更新をお願いしました。配布開始当初よりも認知度も上がってきたようです。救急隊が使用した例がこの半年で33件報告されており、役立っているというお話も聞こえてきております。こ

れからも、情報を更新しつつ自分の身は自分で守るという意識を区民の皆様にかけていただけたらと思います。

他にも、10月のすみだまつりでは、毎年禁煙のアンケートをとり、呼気中のCO濃度の測定もして禁煙相談をしています。この結果を平成24年度には学会発表にまとめることもできました。ピンクリボンイベントでは、がん治療の相談とともに禁煙指導なども実施しています。

在宅医療では、地域包括ケア会議に出席させていただき、連携を図っています。また地域の高齢者支援センターでは、ケアマネージャーさんとともに高齢者の医療や薬剤について勉強も始めています。

これからも皆様と共にますます連携を深め、地域に貢献できるよう努めてゆきたいと思っています。

墨田区薬剤師会 会長 濱野明子



当院おせち料理のご紹介

毎年1月1～3日の朝食は、おせち料理を提供しています。患者さんにお正月を感じていただきたいと思います。



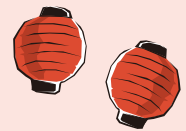
こんな活動をしています

サマーコンサート



毎年、春と夏に爽やかな歌声を聴かせてくれる東京女子医科大学看護学部音楽部の皆さん。
患者さんも歌い、リズムに合わせてノリノリのコンサートでした。

病院寄席



3~4か月に1回、行われている「病院寄席」。笑う時は腹筋や胸の横隔膜、顔の表情筋など様々な筋肉を使っています。
つらい事苦しい事もありますが、笑ってもう少しだけ頑張りましょう！

① ア		③ サ	④ キ	ン
⑦ ケ	② ア	ン	ズ	
⑧ マ	ス		⑨ ナ	⑥ ラ
⑩ シ	カ	⑤ イ		イ
テ		⑪ カ	ン	ト

ほっとりハ **クロス** パズル
ワード

答え

① ア

⑥ ラ

⑤ イ

東京都リハビリテーション病院
ほっとりハ

平成28年1月1日（金）発行

東京都リハビリテーション病院 広報委員会

〒131-0034 東京都墨田区堤通2-14-1

TEL : 03-3616-8600 FAX : 03-3616-8699

<http://www.tokyo-reha.jp>

編集
後記

新年明けましておめでとうございます。広報委員会一同、心から新年のお祝いを申し上げます。
本年も広報紙「ほっとりハ」では、地域への情報発信及び院内情報の共有化をより充実した内容で皆様に提供できるよう、努力して参りますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。